No.２８３８

ハイマツの稜線を那須最高峰へ
朝日岳・三本槍岳

実施日　２０１７年７月１６日（日）
天　候　曇り一時小雨
リーダー　涌井　良明
参加者　服部美千代、涌井良明、石附智江、岩崎陽子、宇野輝代、向山博子　計６名
費　用　JR11,210円(東京起算)🚌2,800円
タイム　那須塩原(7:32~45🚌)那須ﾛｰﾌﾟｳｪｲ(8:55~9:05)峰の茶屋(10:03~10)朝日岳(10:55~11:05)清水平(11:36)三本槍岳(12:25~13:00)北温泉分岐(13:22)峰の茶屋(14:35~30)ﾛｰﾌﾟｳｪｲ駅(15:20~23🚌)黒磯(17:40~47🚃)那須塩原(17:52~18:02🚄)大宮(18:50)上野(18:10)東京(18:16)

前日に那須付近は局地的豪雨があったこともあって、山中での雷雨・強雨だけは避けなければと、曇空の更に雲を注意深く注視しながらの歩きだったが、それほど雨にも遭わずに三本槍岳まで脚を伸ばせたのは、良かったと思いたい。

我々の他に数人の登山者の空いていた🚌を降り、ﾛｰﾌﾟｳｪｲを待つ人の群れに背を向けて、石畳、車道から峠の茶屋を過ぎて山ノ神の鳥居で登山道になる。

しばらくで森林限界、山肌の道はまっすぐに前方の大きな弛みの峰の茶屋跡に向う。右手に朝日岳が既にアルペン的な景観を見せてくれる。

峰の茶屋避難小屋で一息ついて、朝日岳に向う。風の名所も今は無風でラッキー！

稜線の右側から剣ヶ峰を巻き、次に尾根を回り込み左側から鎖場の岩場トラバースを越し、ガレを急登して朝日岳の肩に出る。右に10分程で山頂だ、西風に乗ったガスが急に濃くなり、少し前まで見えていた周囲の眺望は一瞬にして無地のカンバスにされてしまった。

写真を撮って肩から三本槍岳を目指す。小さな登降とガレ道を登って1900ﾒｰﾄﾙ峰から、シャクナゲの目立つ道を一気に下って緑のオアシスのよう清水平を木道気に具く分に回り込むように灌木の密生した小道を少し下った鞍部から三本槍の本峰の登りになる。標高差70ﾒｰﾄﾙ程を段差の大きめなステップの多い道を登りきって小広い頂の三本槍岳に着く。Woh！正面に△のカッコイイ山が・・・と、余程我々には見せたくないのか、またも白いカーテンをさっと引いて隠してしまった。イジワルー！

旭岳（赤崩山）というが、現在登山道は廃止されて基本登れない。(ﾔﾏﾚｺ記録はあるけど)

雨も上がってしばらく降りそうもないので雨具も脱いで、いつもように差し入れもあるランチタイムでノンビリ。

結局カーテンは開かなかったけど、写真を撮って戻ることになる。

北温泉分岐から中の大倉尾根を下る予定だったが、諸事情によりそのまま朝日岳経由で戻ることにした。

清水平から1,900ﾒｰﾄﾙ峰の登り返しが少し辛かったが、かなり多かった登山者の姿も見えなくなり朝日岳のガレの下り、岩場トラバースも順調に通過して、朝方とは様変わりで強風が吹き抜ける峰の茶屋に戻る。樹林帯に入るまで吹かれながら、🚌４分前にﾛｰﾌﾟｳｪｲ駅に。

バスは連休の那須渋滞にはまり１時間遅れて黒磯駅へ、ここで降りて電車で那須塩原へ出てやっと新幹線へ、ヤレヤレ！　お疲れ様でした。山は良かったけど、🚌がねえ・・・　でもアルペン気分もある那須の山は良いよね。また周辺の山も歩きたいですね。

なんて、言うかぁ！？

（記＆写真・涌井　良明）